

**先端研究助成基金助成金(最先端・次世代研究開発支援プログラム)
実施状況報告書(平成 24 年度)**

本様式の内容は一般に公表されます

研究課題名	高齢・障害者の雇用と日本の新しい社会システム
研究機関・ 部局・職名	敬愛大学・経済学部・准教授
氏名	高木 朋代

1. 当該年度の研究目的

本研究の目的は、働くことが健康社会の実現につながるという考えを前提として、日本が今後さらに健康的で活動的な人々を多く擁する社会システムを構築し、持続的成長を遂げていくために、これまで雇用・労働システムから排除されがちであった高年齢者および障害者の人々を、「働く場」に招き入れるためにはどのような社会環境づくりが求められているのか、この点を具体的に検討することにある。

平成 24 年度は、昨年度に文献レビューや調査研究によって収集した基礎資料を分析していくとともに、質問票調査を実施する。これにより、高齢・障害者の働く姿が実際に社会に示されていくことの意義、雇用・労働システムへの包摂の可能性を理論的・実証的に検討する。

2. 研究の実施状況

平成 24 年度は、これまで行ってきた文献レビューや調査研究によって収集した資料を分析し、高齢・障害者の雇用・労働システムへの包摂の可能性を考察するとともに、聞き取り調査と分析を通じて、雇用の主要な受け皿である企業の経営管理について理論的・実証的に検討を行った。また、これまでの研究で見出された予備仮説を整理した上で、国際比較サーベイ調査を実施し、日本を含む 6 カ国の高齢・障害者問題に関する定量的考察を加えた。その結果、本年度の成果として以下の見解を得た。

第一に、前近代から連綿と受け継がれてきた高齢・障害に対する差別意識は、一様に存在しているのではなく、国際化が進んだ現代社会においても各国間で異なる様相をみせている。このことは、人々が抱く差別というもの、当該者が属する社会圏の特性に強く由来することを意味している。各国の文化・経済・政治・歴史等の違いが各国の差別意識の違いを生みだしているとするならば、やはり差別の感覚は、刻一刻と変化していく時代や社会環境によって揺れ動く、一時代の位相にすぎないと見ることができるだろう。つまり人々のなかに強く根付いていると目される差別意識は、実は操作可能な変数であり、政策等によって変化させることができると考えられる。

第二に、米国の差別禁止法および欧州の EC 指令によって、国際社会の新しい秩序として提唱された合理的配慮や年齢差別禁止の考えは、未だそれほど一般市民の間で理解され共有されているわけではない。この新しい秩序が、人々の心性に根付く差別意識を払拭し、また高齢・障害者の雇用機会を拓くと見做すには難しい側面があると推察する。補完施策あるいは別の手立てが必要と考えられる。

第三に、高齢・障害者の雇用促進による社会への包摂は、社会の公正原理からだけではなく、企業内部における人事管理上の公正理念および利潤追求原理の両面から正当化される。しかし、法規制によって雇用の圧力が強まりすぎるならば、むしろ雇用の不安定性を招くという逆理が導かれる可能性がある。

次年度はさらに詳細なサーベイ調査を、焦点を絞って実施し、また質的調査も追加しながら、これまでの研究をまとめていく予定である。

様式19 別紙1

3. 研究発表等

雑誌論文 計2件	(掲載済み一査読有り) 計0件 (掲載済み一査読無し) 計1件 ・高木朋代「高年齢者雇用と公正原理：選抜における合意形成と正義の分配原則」 『ジュリスト』5月号 No.1441, 2012年4月, pp.24-29. (未掲載) 計1件 ・高木朋代「高年齢者雇用安定法の改正と逆理的帰結：暗黙の選抜と揺らぐ雇用保障」 『ジュリスト』5月号 No.1454, pp.43-48. (2013年4月掲載予定)
会議発表 計1件	専門家向け 計1件 “The Advantages and Disadvantages of the Japanese Labour Market and Human Resources Management,” East Asian Studies, University of Zurich, Switzerland, April 2012. *Invited 一般向け 計0件
図書 計0件	
産業財産権 出願・取得状 況 計0件	(取得済み) 計0件 (出願中) 計0件
Webページ (URL)	
国民との科 学・技術対話 の実施状況	
新聞・一般雑 誌等掲載 計3件	・平成24年9月 「『年の功』再発見」『Works』Vol.91, リクルートワークス研究所. ※エッセイ ・平成25年2月25日 「日本経済新聞」朝刊 ※取材記事 ・平成25年3月『人材教育』4月号, 日本能率協会マネジメントセンター, pp.42-45 ※取材記事
その他	・平成24年11月2日、9日 NHK Eテレ、「団塊スタイル」出演

4. その他特記事項

実施状況報告書(平成24年度) 助成金の執行状況

本様式の内容は一般に公表されず

1. 助成金の受領状況(累計)

(単位:円)

	①交付決定額	②既受領額 (前年度迄の 累計)	③当該年度受 領額	④(=①-②- ③)未受領額	既返還額(前 年度迄の累 計)
直接経費	19,000,000	5,500,000	7,000,000	6,500,000	0
間接経費	5,700,000	1,650,000	2,100,000	1,950,000	0
合計	24,700,000	7,150,000	9,100,000	8,450,000	0

2. 当該年度の収支状況

(単位:円)

	①前年度未執 行額	②当該年度受 領額	③当該年度受 取利息等額 (未収利息を除 く)	④(=①+②+ ③)当該年度 合計収入	⑤当該年度執 行額	⑥(=④-⑤) 当該年度未執 行額	当該年度返還 額
直接経費	441,587	7,000,000	0	7,441,587	1,537,393	5,904,194	0
間接経費	0	2,100,000	0	2,100,000	2,100,000	0	0
合計	441,587	9,100,000	0	9,541,587	3,637,393	5,904,194	0

3. 当該年度の執行額内訳

(単位:円)

	金額	備考
物品費	104,235	書籍、文具、PC備品
旅費	601,744	研究調査滞在費、調査旅費(英国、欧州等)
謝金・人件費等	739,622	資料収集、文書作成等研究補助謝金
その他	91,792	サーベイ調査実施費、資料・書籍の郵送費等
直接経費計	1,537,393	
間接経費計	2,100,000	
合計	3,637,393	

4. 当該年度の主な購入物品(1品又は1組若しくは1式の価格が50万円以上のもの)

物品名	仕様・型・性能 等	数量	単価 (単位:円)	金額 (単位:円)	納入 年月日	設置研究機関 名
なし				0		
				0		
				0		